

市政の動き

9月定例会報告 から

9月2日、令和4年度第4回豊岡市議会定例会が開会しました。

開会にあたり市長が総括説明を行い、新型コロナウイルス関連、当面する市政の諸課題および提出議案などについて説明しました。その中から主な内容をお知らせします。

なお、市長総括説明の全文は、市ホームページをご覧ください。

■新型コロナウイルス関連等 感染拡大の対応状況

県では、患者の急増に直面する医療機関の負担を軽減するため「自主療養制度」を運営しています。希望者には「抗原検査キット」が県から送付されます。市としても、この制度に協力し、対象者のうち市からの配付を希望する方に対して検査キットを送付しています。今後とも、ワクチン接種な

どを推進するとともに、市内の経済状況などへの注意も怠らず、状況の変化に応じて、適切なタイミングで、適切な分野へ対策を実施するよう努めます。

■ワクチン接種

現在は、4回目の追加接種を中心に実施しています。1回目から3回目の接種希望者については、状況を見ながら接種枠を追加設定しています。

5歳から11歳の小児への接種

については、市内の小児科医院で個別接種を実施しています。また、4回目の追加接種

従事者が追加されましたので、各医療機関、高齢者施設等および集団接種会場において接種できるよう対応しているところです。

接種率については、8月29日現在、高齢者等が対象者である4回目の追加接種が87・

9%、小児の接種が14・9%となっています。

なお、オミクロン株に対応したワクチンについて、接種を実施する方針が国から示さ

■プレミアム付商品券 「PREMIUM 豊岡」

長引くコロナ禍と物価上昇等で厳しい状況にある市内経済および市民の家計を支援するため、1セット1万円で1万2千円分の買い物ができるプレミアム付商品券を12万セット発行しました。

9月1日から郵便局での販売および取扱店舗での利用を開始しています。開始時点での取扱店舗数は713店です。商品券の販売期間は12月28日まで、利用期間は来年1月31日までです。多く市民の皆様に利用いただき、少しでも市内経済の回復につながればと考えています。

■安全に安心して暮らせるまち への家計応援給付金

支給対象となる子ども約1万2千人のうち、市から児童手当を支給している7786人に8月10日に支給を行いました。現在は申請が

れたため、準備を進めています。引き続き、円滑な接種に努めます。

必要である高校生等への支給を行っており、8月30日時点では2801人分の申請がありました。申請漏れ等がないよう引き続き周知に努めます。

■人と自然が共生するまち キックオフイベント

プラスチックごみ削減の取り組みを促すため、キックオフイベントを10月22日に芸術文化観光専門職大学で開催します。これを契機に、市民、事業者、学校、行政等の多様な主体が連携して、外出時のマスク着用やマイボトル持参、イバッゲやマイボトル持参、祭りなどのイベント時のリユース食器の使用等、脱プラスチックの取組みをさらに進めます。

■豊岡演劇祭 持続可能な「力」を高めるまち

として開催され、国内外から約80の団体・アーティストが参加する予定です。市民会館などでの著名な劇団による公演から大道芸等の路上パフォーマンスまで、多様で幅広い

ラインナップが予定されています。多くの市民が参加し、楽しんでいただける演劇祭になることを期待しています。

■豊岡ファンミーティング

2009年から19年まで、企業やメディアの方々を対象とした情報発信イベント「豊岡エキシビション」を東京において開催してきました。今年度は豊岡市内において「豊岡ファンミーティング」を開催し、過去に「豊岡エキシビション」に参加した方々に豊岡の今をご覧いただくとともに、市民と交流して親交を深めていただきたいと考えています。期日は9月19日・20日の2日間で、本市に縁のあるフジテレビアナウンサーの佐々木恭子さんをお迎えし、市への移住者等と熱く語つていただけトークセッションなどをを行うこととしています。

■道の駅「神鍋高原」整備事業

道の駅は、周辺の観光事業者や生産者、地域住民等から、神鍋高原の玄関口としての機能や役割に多くの期待が寄せられています。また、11月に

道の駅に隣接してオープンするホテルの宿泊者も含め、今後、多様化する来訪者ニーズへの対応も求められているところです。そこで、神鍋高原の「おもてなし中核施設」としての魅力をさらに向上させていため、道の駅の機能を地域と連携して強化するほか、運営の見直しや長寿命化を含む整備運営計画を策定したいと考えています。

■中核工業団地における地域マイクログリッド事業

これは、平常時には太陽光発電等の再生可能エネルギーを効率よく活用しながら、災害などにより電力供給が滞るような非常時には、送配電ネットワークから切り離し、決められたエリア内でエネルギーの自給自足を行う送配電の仕組みです。中核工業団地で操業されている22社のうち15社が参画される予定です。災害等で大規模停電が起きた場合でも団地内の自立した電力供給体制により、取組みへの参画企業のほか指定緊急避難所である神美台スポーツ公園管理棟にも電力が供給され、

事務所機能を維持することができます。災害時における電力供給の確保や、エネルギー利用の効率化に寄与する事業として期待を寄せています。

■JR西日本口一カル線の維持存続および利用促進

6月24日、県が主体となつて設置した「JR西日本口一カル線維持・利用促進検討協議会」の第1回会議が開催されました。改めてJR西日本口一カル線の現状について説明があり、今後の利用促進の取組みについて議論を行いました。8月10日には「JR西日本口一カル線維持・利用促進ワーキングチーム」の第1回会議も開催され、JR山陰本線の現状、利用実態等を踏まえた上で、利用促進策について意見交換を行いました。今後、来年1月まで議論を重ね、利用促進策や取組方策について取りまとめる予定です。

また、関係市町等で構成する鉄道関係の同盟会により、7月21日にはJR西日本本社に、8月29日には同福知山支社に但馬地域の鉄道の維持・存続、利便性向上について要

望を行ったところです。引き続き、市民の日々の暮らしや観光需要の誘引に欠くことのできない鉄道ネットワークをして期待を寄せています。

事務所機能を維持することができ、災害時に電力供給の確保や、エネルギー利用の効率化に寄与する事業として期待を寄せています。

議員説明会および市民説明会を行いたいと考えています。

2本柱で取組みを進めています。「市役所の経営改革」については、部長への権限と責任の委譲による自律的マネジメント等について検討を行っています。「市役所の業務及びサービス改革」については、市役所への手続きがスマートフォンなどから行えるオンライン申請と、質問に答えるだけですべて必要な手続きや書類等がわかる「くらしの手続きガイド」の整備を進めています。

市政の運営

■デジタルトランスフォーメーション推進状況

今後も、コロナ禍やウクライナ情勢等による建設資材の高騰等、社会情勢の変化を注視しながら実施設計業務を進め、利用促進等に努めます。

基本方針を「市役所トランクスフォーメーション」W with デジタル」と定め、11月には素案を取りまとめて、議員説明会および市民説明会を行いたいと考えています。

■子育て支援総合拠点等整備 未来を拓く人を育むまち

子育てに関する機能を集約し、子育て支援の強化を図るために、アイティ7階にこども支援センターを移転します。現在、改修工事が進んでおり、当初の予定から約1ヶ月遅れることとなりましたが、11月1日から開所する予定です。これまでアイティ4階および7階の子育て支援総合拠点等が完成します。より一層市民の皆さんに活用いただけるよう、PR等に努めます。

R山陰本線の現状、利用実態等を踏まえた上で、利用促進策について意見交換を行いました。今後、来年1月まで議論を重ね、利用促進策や取組方策について取りまとめる予定です。

総合体育館の大規模改修 総合体育館は、開館から30年以上が経過し、施設の老朽化や電気・機械設備の機能劣化が進んでいます。このため、昨年度に行つた実施設計を踏まえ、大規模改修工事を行うこととしています。工期は2023年1月から24年3月までを見込んでいます。

なお、開館から60年以上が経過し、老朽化が進んでいる市民体育館については、体育施設等個別施設設計において、「安全性に問題が生じた段階で使用を停止し、機能移転を図り、廃止する」としていきます。しかし、安全性に問題が生じる段階を待つことなく、実際に機能移転をどのように図るかについて、他の類似施設の活用も選択肢とし、検討を進めたいと考えています。

■新文化会館整備事業 人生を楽しみ お互いを支え合つまち

7月29日の議員説明会において、現在進めている実施設計に関し、基本設計からの変更内容、概算工事費の見直し内容、今後のスケジュールについて報告し、議員の皆様か

らご意見をいただきました。今後も、コロナ禍やウクライナ情勢等による建設資材の高騰等、社会情勢の変化を注視しながら実施設計業務を進め、利用促進等に努めます。

このうち、オンライン申請については、放課後児童クラブに係る申請受付に向けた準備を進めています。

このうち、オンライン申請については、放課後児童クラブに係る申請受付に向けた準備を進めており、「くらしの手続きガイド」については、転居、出生に関する手続きについて9月から利用開始しています。今後、他の申請や手続きへの拡大を進めます。

また併せて、窓口手続きをワンストップ化するための組織の検討も行っているところです。